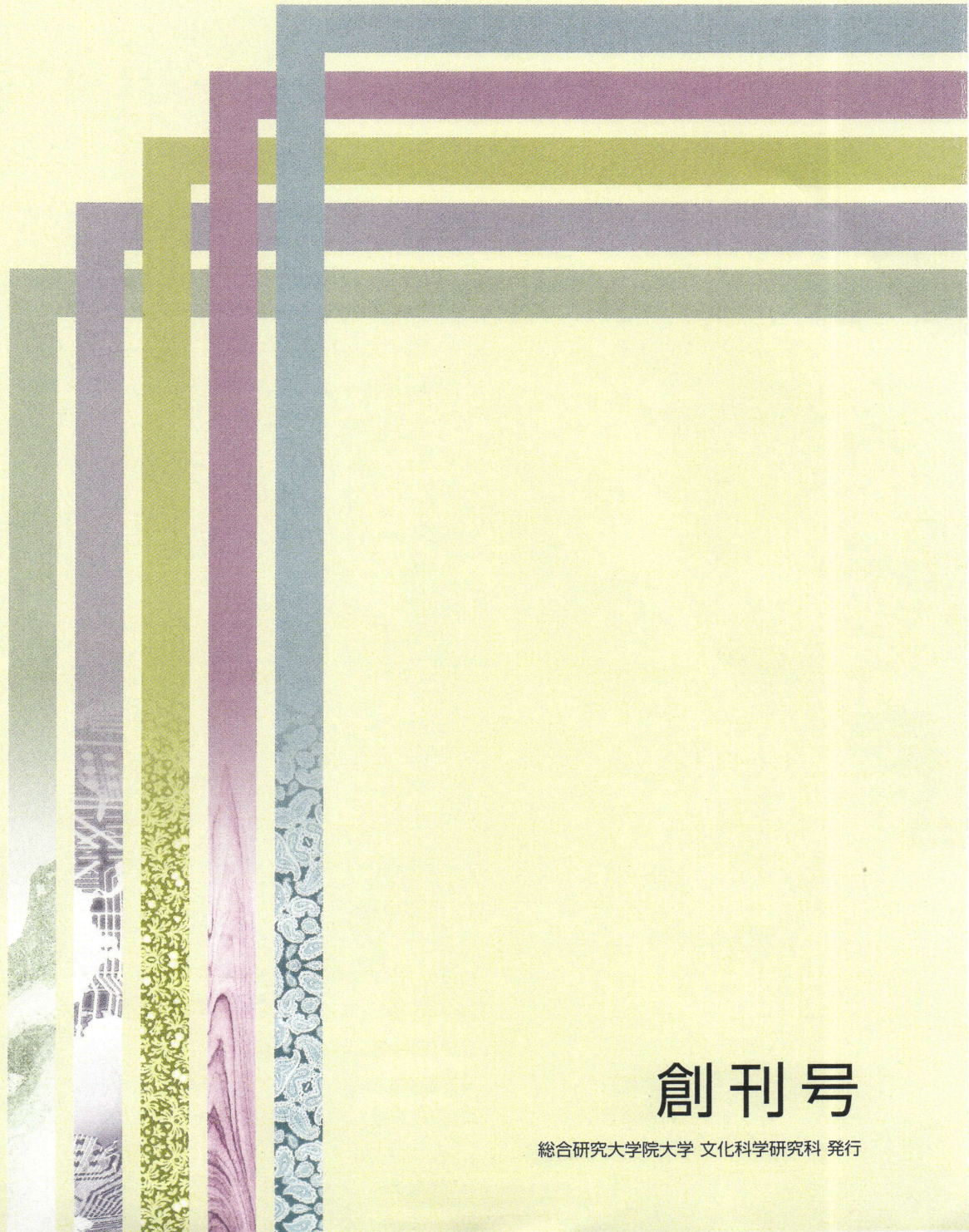


総研大文化科学研究

Sokendai Review of Cultural and Social Studies



創刊号

総合研究大学院大学 文化科学研究科 発行

總研大文化科学研究創刊号

恋歌の歴史―江戸時代を中心に

国際日本文化研究センター 研究部教務補佐員 岩井 茂樹 五

池田本源氏物語・甲筆書写卷をめぐる

文化科学研究科・日本文学研究専攻 大内 英範 四三

ユーザビリティ専門家のコンピタンス定義に関する
実践的アプローチと理念的アプローチの比較研究

*1…文化科学研究科・メディア社会文化専攻
*2…テクニカルコミュニケーター協会

佐藤 大輔^{*1}、黒須 正明^{*1}、高橋 正明^{*2}、高橋 秀明^{*1} 97

弥生時代の開始年代

AMS―炭素14年代測定による高精度年代体系の構築―

学術創成研究グループ 藤尾 慎一郎・今村 峯雄・西本 豊弘 69

教会に傾斜する庶民

―トンガ王国エウア島の寄付集めの事例から―

文化科学研究科・地域文化学専攻 森本 利恵 55

エチオピア北部、ティグレ州の岩窟教会堂壁画
マリラム・コルコル修道院教会を例に

2004年度・国立民族学博物館・特別共同利用研究員 米倉 立子 27

ソ連文化政策が民俗音楽にもたらしたもの…バラライカ
「モスクワ80」と奏者たち

文化科学研究科・地域文化学専攻 柚木(大家)かおり 5

総研大文化科学研究 一号

Sokendai Review of Cultural and Social Studies

発行日 平成十七年八月十日発行 (August 2005)

編集 総研大文化科学研究科 編集委員会

編集長 鈴木貞美 (国際日本研究専攻)

発行所 総合研究大学院大学 文化科学研究科

事務局 総合研究大学院大学

企画調整室「文化科学研究」係
〒二四〇—〇一九三

神奈川県三浦郡葉山町 (湘南国際村)

電話 〇四六—八五八—一五八二

FAX 〇四六—八五八—一五四一

印刷 日本写真印刷株式会社

創刊のことは

総合研究大学院大学文化科学研究科は、文化科学研究（Cultural and Social Studies）の国際的、学際的な発展に寄与し、かつ、研究科内の連携強化をはかるために、高水準のレフェリー・ジャーナル（年刊）『総研大 文化科学研究』（Sokendai Review of Cultural and Social Studies）を創刊しました。

本誌は、

1. 広く内外から論文を募り、文化科学全般についての国際的に開かれた総合学術誌とします。論文の言語は問いません。
2. 研究科所属の専任・客員教員、大学院生・研究生に論文発表の機会を提供します。
3. 専門分野にとらわれない学際的、総合的な視野にたつ論文を歓迎します。
4. 研究科が編集委員会を組織し、運営にあたります。
5. 内外の第一線の研究者にアドバイザーをお願いし、不断に、誌の質的向上をはかります。
6. 論文審査は関連分野の第一線の研究者に依頼します。
7. 人文・社会系では国内初のe-journalですが、活字媒体でも刊行します。
8. 募集要項、編集規定を別途、掲載します。

2005年3月15日

2004年度総合研究大学院大学文化科学研究科長 鈴木貞美

『総研大 文化科学研究』 アドヴァイザリー・ボード

ベフ・ハルミ（スタンフォード大学名誉教授）

田辺繁治（大谷大学教授）

フミコ・井川・スミス（マッギル大学教授）

ケイト・ナカイ（上智大学教授）

ジョン・クラーク（シドニー大学教授）

井上宗雄（立教大学名誉教授）

ハルオ・シラネ（コロンビア大学教授）

鳥越皓之（早稲田大学教授）

五味文彦（東京大学教授）

論文募集要項

応募資格、枚（語）数、言語は問いません。

- 論文（end note方式、欧文の場合、両端揃えなし）には、応募時に、当該言語ないしは日本語のサマリー（A4 40×40字、1～2枚程度）
英文サマリー（A4 double space, 0.5～1枚）、key word（5～10）、および総研大文化科学研究科の専任教員による推薦文をつけてください。
- 推薦文は、日本語または英語で、推薦する論文の「テーマ、方法、学術上の意義」について、A4（日本語の場合40×40、英語の場合double space）1枚程度にまとめてください。論文とともに本誌に掲載します。
- 総研大（専任・客員）教員が応募する場合は、自薦文を上記要領をつけてください。
- 論文の区分は（1）論文 （2）研究ノート （3）資料紹介 の三区分とします。
- カラー写真は、論文ごとにまとめて掲載します。
- 締め切り：毎年12月1日（厳守）
- 提出先：推薦者の所属する専攻の本誌編集委員。
- 刊行：毎年年度末（e-journalは総研大本部ホーム・ページ）、活字媒体でも発行します。
- なお、論文表記の体裁については、本研究科各専攻の本誌編集委にお尋ね。

2004年11月1日

総合研究大学院大学文化科学研究科 専攻長会議
(2005年1月25日、訂正)

『総研大文化科学研究』編集規程

平成16年1月27日 総研大文化科学研究編集委員会決定

- 第1条** 誌名は、「総研大文化科学研究」(Sokendai Review of Cultural and Social Studies)（以下「ジャーナル」という。）とする。
- 第2条** ジャーナルは、当分の間、年1回の刊行とし、総合研究大学院大学葉山本部のホームページサーバーを用いたE-journal及び印刷物とする。
- 第3条** 編集委員会は、責任をもってジャーナルを刊行し、運営する。
- (1) 各専攻より各1人の編集委員を選出する。ただし、専攻長の兼任をさまたげない。
 - (2) 編集長、副編集長は、それぞれ研究科長、副研究科長が兼ねる。
 - (3) 編集長、副編集長及び編集委員は、無給とする。
 - (4) 編集委員は、当該委員が所属する専攻の専任教員とし、投稿原稿及び推薦文の受領、それらの管理、進行及びジャーナル刊行後の処置に責任を有する。
 - (5) 編集委員会は、投稿原稿ごとに査読者を2人選定する。
 - (6) 編集作業及びその取扱いは、別に定める。
- 第4条** 編集委員会は、国内外の各分野における第一線の研究者にアドヴァイザリー・ボードを委嘱する。この場合において、外国人を半数以上入れることが望ましい。
- (1) ジャーナル編集上の改善策、適切な査読者の紹介等、編集委員会に助言を行う。なお、年1回の刊行につき、必ず報告書を提出する。
 - (2) アドヴァイザリー・ボードは、10人程度とし、その謝礼は年1回の刊行につき3万円とする。
- 第5条** 国内外の当該分野における査読者を投稿原稿1点につき、2人委嘱する。
- (1) 査読者は、編集委員会が定めた査読要領に従い、投稿原稿を査読する。
 - (2) 査読料は、1件につき3万円とする。
 - (3) 査読要領は、別に定める。
- 第6条** 投稿要領及び執筆要領は、別に定める。なお、日本語論文についての執筆要領は、当分の間、定めないこととする。
- 第7条** 投稿原稿及び掲載論文の区分は、次に掲げる3区分とする。
- (1) 論文
 - (2) 研究ノート
 - (3) 資料紹介
- 附則** この規程は、平成16年1月27日から適用する。

Sokendai Review of Cultural and Social Studies

Published by
The Graduate University for Advanced Studies
School of Cultural and Social Studies

vol.1

Sokendai Review of
Cultural and Social Studies

vol.1

総研大 文化科学研究 創刊号 目次

ソ連文化政策が民俗音楽にもたらしたもの：バラライカ
「モスクワ80」と奏者たち

文化科学研究科・地域文化学専攻 柚木(大家)かおり 5

エチオピア北部、
ティグレ州の岩窟教会堂壁画
—マリアム・コルコル修道院教会を例に—

2004年度 国立民族学博物館特別共同利用研究員 米倉 立子 27

教会に傾斜する庶民
—トンガ王国エウア島の寄付集めの事例から—

総合研究大学院大学 文化科学研究科 地域文化学専攻 森本 利恵 55

弥生時代の開始年代
—AMS —炭素14年代測定による高精度年代体系の構築—

学術創成研究グループ 藤尾 慎一郎・今村 峯雄・西本 豊弘 69

ユーザビリティ専門家のコンピタンス定義に関する
実践的アプローチと理念的アプローチの比較研究

*1：総合研究大学院大学文化科学研究科メディア社会文化専攻

*2：テクニカルコミュニケーター協会

佐藤 大輔^{*1}、黒須 正明^{*1}、高橋 正明^{*2}、高橋 秀明^{*1} 97

池田本源氏物語・甲筆書写卷をめぐって

文化科学研究科・日本文学研究専攻 大内 英範 四三

恋歌の歴史—江戸時代を中心に

国際日本文化研究センター 研究部教務補佐員 岩井 茂樹 五